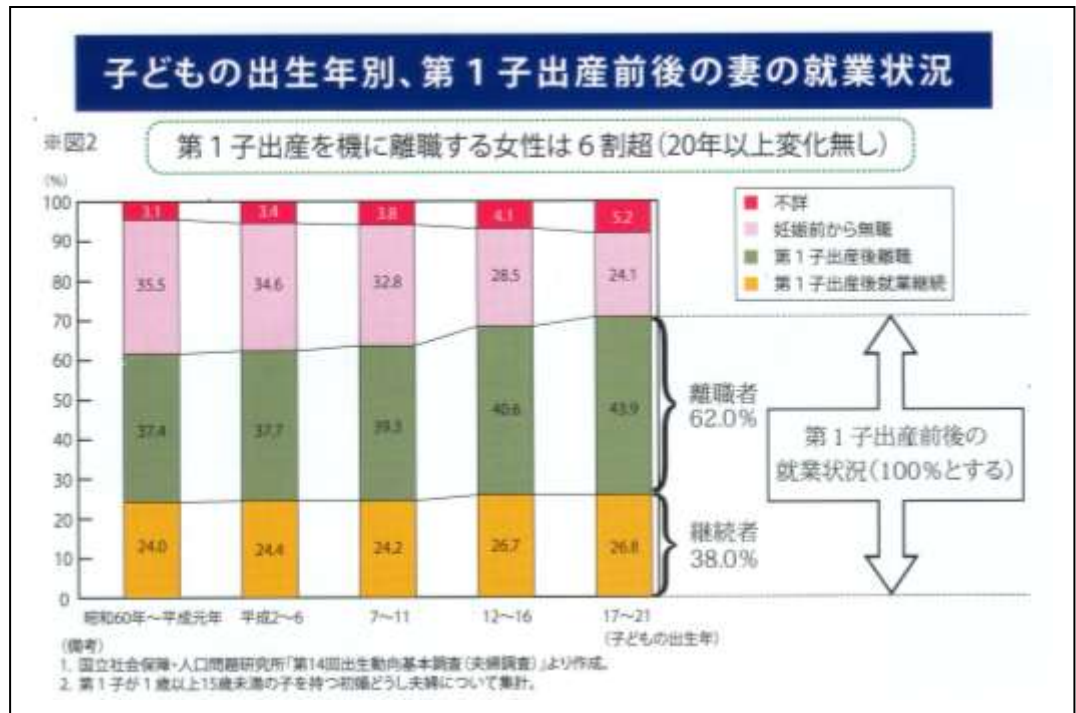


## 男女共同参画社会をつくる ～男女共同参画に関するQ&A～

Q20 我が国では、依然として結婚、出産、子育て期に仕事と生活の両立ができにくく、就業継続やキャリアアップを諦める女性が、第1子出産を機に離職していると聞きますがその状況を知りたい。


A20 約6割もの女性が第1子出産を機に離職しています。(図1)

図1



育児休業を取得する女性は増えていますが、出産前後に就業を継続する割合は、図1からみると38%と増えておらず62%女性が出産を機に離職する傾向が続いています。

子育てとキャリアの両立を可能にするためには、低賃金で昇進がない非正規雇用になってしまえば、仕事で活躍することは諦めなくてはならなくなります。また、日本の長時間労働と言った労働慣行を改めることも必要になります。



「男は仕事、女は家事・育児・介護」を前提とした日本の社会制度、慣習、意識を変えていかなければなりません。確かに、過去の高度経済成長期のように、この仕組みでうまく行った時期もありました。男女とも生きやすい未来のために、日本社会の未来のために、男女共同参画を進めていかななくてはならないのです。

出所 男女共同参画白書 平成27年版 内閣府

